

2021年3月11日

各位

株式会社北洋銀行

2020年度「ほっく一障がい者スポーツ基金」贈呈式を開催します 北海道の障がい者スポーツ選手・団体等に総額710万円の寄付金を贈呈

北洋銀行は、2020年度「ほっく一障がい者スポーツ基金」贈呈式を下記の通り開催し、北海道の障がい者スポーツに取り組む10選手・5団体等へ総額710万円の寄付金を贈呈します。

本取り組みは、お客さまが発行する「パラスポーツ応援債(2017年2月取扱開始)」の0.2%相当額を、当行が「ほっく一障がい者スポーツ基金」へ拠出し、道内の障がい者スポーツ活動に取り組む選手・団体等へ寄付するものです。寄付先は、ほっく一障がい者スポーツ基金選定協議会^{※1}で協議の上決定しています。

当行は今後も地域のお客さまとともに障がい者スポーツを支援し、「北洋銀行SDGs宣言」に基づきSDGsの達成と地域社会の発展に貢献してまいります。

記

- 日時：3月17日(水) 10時
- 場所：北洋大通センター4階セミナーホール(札幌市中央区大通西3丁目7番地)
- 式次第：(1)挨拶
取締役副頭取 竹内 巖
(2)目録贈呈
(3)贈呈先代表挨拶
車いすカーリング選手 高橋 宏美 様
(4)記念写真撮影
- 寄付先：10選手・5団体^{※2}

※1:選定の妥当性・公平性・透明性を図るため、北海道、札幌市、公益財団法人北海道障がい者スポーツ協会、一般社団法人札幌市障がい者スポーツ協会、株式会社北海道新聞社、当行により構成しています。

※2:新型コロナウイルス感染拡大防止のため、贈呈式には個人選手代表1名、団体代表2者が出席します。

【個人代表】高橋宏美選手

【団体代表】公益財団法人北海道障がい者スポーツ協会、一般社団法人札幌市障がい者スポーツ協会

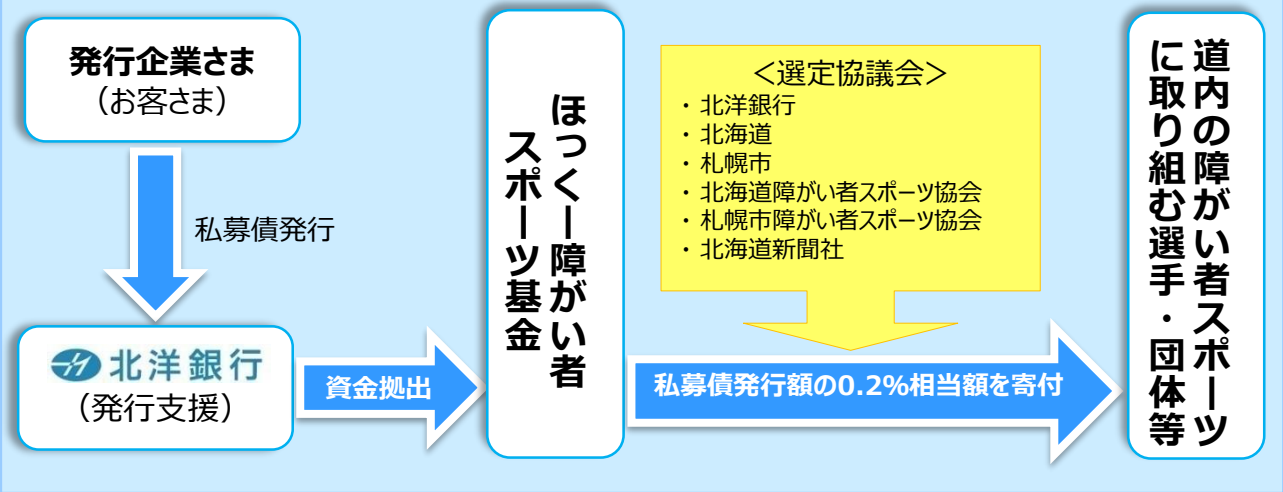
以上

ほっくー障がい者スポーツ基金

2020年度 寄付先のご紹介

「パラスポーツ応援債」について

お客さまに私募債を発行いただくことで、北洋銀行が「ほっくー障がい者スポーツ基金」を通じて道内の障がい者スポーツ活動に取り組む選手・団体等に寄付金を贈ります。



2020年度寄付先について

2020年度は総額710万円を寄付します。寄付先の選定に際しては「ほっくー障がい者スポーツ基金選定協議会」にて寄付目的に関する2つのカテゴリーを設定し、次の15先に決定しました。

カテゴリー 1：世界を目指す選手の応援

- ① 金澤 碧詩 選手 < I D アルペンスキー >
- ② 久保 和廣 選手 < C P サッカー >
- ③ 斉藤 伸弘 選手 < パワーリフティング >
- ④ 鈴木 秀則 選手 < 車いすカーリング >
- ⑤ 須藤 悟 選手 < パラアイスホッケー >
- ⑥ 高橋 宏美 選手 < 車いすカーリング >
- ⑦ 長江 充 選手 < クロスカントリースキー >
- ⑧ 永瀬 充 選手 < パラアイスホッケー >
- ⑨ 三澤 英司 選手 < パラアイスホッケー >
- ⑩ 依田 航 選手 < I D サッカー >

カテゴリー 2：普及・振興活動への支援

- ⑪ 公益財団法人
北海道障がい者スポーツ協会
- ⑫ 一般社団法人
札幌市障がい者スポーツ協会
- ⑬ 道東地区障がい者スポーツ指導者協議会
- ⑭ 函館地区障害者スポーツ指導者協議会
- ⑮ 2021ワールドパラノルディックスキー
ジャパンカップ札幌大会

①金澤 碧詩（かなざわ あおし）選手【札幌市】

1. 選手プロフィール

- ・障がい 合併障がい
- ・競技 IDアルペンスキー

強化指定B選手

2. 活動の概要

【競技を始めたきっかけ】

スキー教室に通い、スキーが好きになったから。フリー滑走は苦手で、旗門があればスムーズに滑走ができたため、アルペン競技を始めた。

【主な競技成績】

- ・2020日本IDアルペンスキー選手権大会
GS（大回転）2位、SL（回転）5位
- ・2020パラアルペンスキー競技大会アジアカップ
GS（大回転）第1戦 2位、GS（大回転）第2戦 4位
SL（回転）第1戦 5位、SL（回転）第2戦 5位

3. 今後の目標

「表彰台に立てるように頑張ります。」



②久保 和廣（くぼ かずひろ）選手【札幌市】

1. 選手プロフィール

- ・障がい 脳性麻痺
- ・競技 CPサッカー

日本代表選手

2. 活動の概要

【競技を始めたきっかけ】

中学校のときにサッカー部に入ったことがきっかけ。高校時代には国体に出場し、自分の中で可能性を感じ、続けてみようと思った。

【主な競技成績】

- ・2011年世界選手権オランダ大会出場
- ・2015年世界選手権イングランド大会出場
- ・2020年世界選手権スペイン大会代表選出

3. 今後の目標

「今後の目標と、どんなときでも思っていることは、何をするにも健常者に負けたくないということです。」



③ 齊藤 伸弘 (さいとう のぶひろ) 選手【帯広市】

1. 選手プロフィール

- ・障がい 先天性二分脊椎症
- ・競技 パワーリフティング

日本代表選手

2. 活動の概要

【競技を始めたきっかけ】

パラリンピックのパワーリフティングは、健常者のベンチプレスを記録的にも凌駕していることを知り、自分もやってみたいと思った。

【主な競技成績】

- ・2017年ワールドパラ・パワーリフティング世界選手権メキシコ大会
男子72キロ級 12位
- ・2018年パラ・パワーリフティング チャレンジカップ
男子72キロ級 優勝
- ・2019年パラ・パワーリフティング全日本選手権
男子72キロ級 優勝

3. 今後の目標

「2021年1月30～31日に開催される全日本選手権で自己記録更新する。2021年6月に行われるドバイワールドカップで良い成績を残し東京パラリンピックに出場する。」



④ 鈴木 秀則 (すずき ひでのり) 選手【帯広市】

1. 選手プロフィール

- ・障がい 胸腰椎多発破裂骨折による両下肢機能全廃
- ・競技 車いすカーリング

日本代表選手

2. 活動の概要

【競技を始めたきっかけ】

入院中に知り合った方が、車いすカーリングをされており、その方に誘われて始めた。

【主な競技成績】

- ・2016年3月 第13回日本車いすカーリング選手権大会 5位
- ・2016年8月 第6回帯広ライオンズクラブ杯チェアカーリング大会 2位
- ・2017年3月 第4回北海道車いすカーリング選手権 2位
- ・2017年8月 第7回帯広ライオンズクラブ杯チェアカーリング大会 優勝
- ・2018年5月 第14回日本車いすカーリング選手権大会 4位
- ・2018年3月 第5回北海道車いすカーリング選手権 3位
- ・2018年8月 第8回帯広ライオンズクラブ杯チェアカーリング大会 2位

3. 今後の目標

「車いすカーリングでパラリンピックに出場しメダル獲得を目指します。」



⑤ 須藤 悟 (すどう さとる) 選手【中標津町】

1. 選手プロフィール

- ・障がい 両下肢離断
- ・競技 パラアイスホッケー

日本代表選手

2. 活動の概要

【競技を始めたきっかけ】

長野パラリンピックが開催されることで競技を知り、偶然地元チームがあったため競技を始めた。

【主な競技成績】

(冬季パラリンピック)

- ・2002年 ソルトレイクシティ大会5位 ・2006年 トリノ大会 5位
- ・2010年 バンクーバー大会2位 ・2018年 平昌大会 8位
(世界選手権)
- ・2000年アメリカ大会 4位 ・2004年スウェーデン大会 6位
- ・2008年アメリカ大会 4位 ・2009年チェコ大会 4位
- ・2012年ノルウェー大会 7位 ・2013年長野大会 2位
- ・2015年アメリカ大会 8位 ・2016年苫小牧大会2位
- ・2019年チェコ大会 8位

3. 今後の目標

「北京大会を見据え、大会出場と若年層への技術指導に注力していく。」



⑥ 高橋 宏美 (たかはし ひろみ) 選手【札幌市】

1. 選手プロフィール

- ・障がい 第12胸椎脱臼骨折・脊髄損傷
- ・競技 車いすカーリング

日本代表選手

2. 活動の概要

【競技を始めたきっかけ】

知人の紹介で世界を目指せるスポーツだと知り、競技を始めた。

【主な競技成績】

- ・2018年Wheelchair-B Curling Championship 2018 日本代表 14位
- ・2019年北海道新聞社杯 北海道車いすカーリング選手権大会 準優勝
- ・2019年日本車いすカーリング選手権大会 3位
- ・2019年Wheelchair-B Curling Championship 2019 日本代表 12位
- ・2021年Wheelchair-B Curling Championship 2020 日本代表 内定

3. 今後の目標

「パラリンピック出場を目指し世界で通用する選手になりたい。またたくさんの人に車いすカーリングを知ってもらうための活動をしていきたい。」



⑦ 長江 充（ながえ みちる）選手【旭川市】

1. 選手プロフィール

- ・障がい 知的障がい
- ・競技 クロスカントリースキー

強化指定B選手

2. 活動の概要

【競技を始めたきっかけ】

高等養護時代の部活の顧問や先輩の誘いもあって競技部に入部。そこでクロスカントリースキーに初めて取り組み、大会などで良い成績をあげることができた。

【主な競技成績】

- ・2019 全日本障害者クロスカントリースキー競技大会 6位
- ・2020 全日本障害者クロスカントリースキー競技大会 6位

3. 今後の目標

「昨年は全日本障害者クロスカントリースキー競技大会で基準を突破し強化指定選手に選ばれました。今後の目標は、全日本障害者クロスカントリースキー競技大会で3位入賞を目指し、日本代表として世界選手権大会に出場することです。また、2030年パラリンピックを札幌が誘致しID（知的障害）がパラリンピックに復帰できていたら、日本代表として出場することが最大の目標です。」



⑧ 永瀬 充（ながせ みつる）選手【札幌市】

1. 選手プロフィール

- ・障がい CIDPによる両上下肢機能障害
- ・競技 パラアイスホッケー

日本代表選手

2. 活動の概要

【競技を始めたきっかけ】

何かスポーツをしたいと思っていた時に北海道新聞の記事を読んで、競技を始めたいと思った。

【主な競技成績】

- ・1998長野パラリンピック 5位
- ・2002ソルトレークパラリンピック 5位
- ・2006トリノパラリンピック 5位
- ・2010バンクーバーパラリンピック 2位

3. 今後の目標

「2021年は北京パラリンピックの出場権を獲得し、2022年北京パラリンピックでメダルを獲得する。」



⑨三澤 英司（みさわ えいじ）選手【上川郡】

1. 選手プロフィール

- ・障がい 右股関節切断
- ・競技 パラアイスホッケー

日本代表選手

2. 活動の概要

【競技を始めたきっかけ】

1998年冬季パラリンピック長野大会開催が決まり、パラアイスホッケーの競技において日本の出場が決定したことから、当大会の出場を目標に競技を開始した。

【主な競技成績】

- ・2010年冬季パラリンピックバンクーバー大会出場 2位（銀）
- ・2012年IPC世界選手権Aプール出場 7位
- ・2013年IPC世界選手権Bプール出場 2位
- ・2015年IPC世界選手権Aプール出場 8位
- ・2016年IPC世界選手権Bプール出場 2位
- ・2018年冬季パラリンピック平昌大会出場 8位
- ・2019年IPC世界選手権Aプール出場 8位

3. 今後の目標

「2022年冬季パラリンピック北京大会の予選が2021年に開催される予定です。この予選を勝ち抜き、北京大会の出場権を獲得することが目標です。」



⑩依田 航（よりた わたる）選手【札幌市】

1. 選手プロフィール

- ・障がい 知的障がい
- ・競技 IDサッカー

日本代表候補選手

2. 活動の概要

【競技を始めたきっかけ】

通学していた学校（札幌高等養護学校）の先生の勧めがあり、競技を始めた。

【主な競技成績】

- ・2018年第7回INASサッカー世界選手権
2018スウェーデン大会6位
- ・2022年virtusサッカー世界選手権
フランス大会日本代表候補選手

3. 今後の目標

「次回大会（2022年virtusサッカー世界選手権フランス大会）の日本代表候補選手にもなっているので、レギュラーとして世界1位を目指したい。」



⑪ 公益財団法人北海道障がい者スポーツ協会【札幌市】

1. 団体について

設立	1985年7月
代表者名	会長 相馬秋夫
団体構成員数	役員23人 会員248人
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7 4階

2. 活動の概要

【団体の目的】

北海道における障がいのある人のスポーツの普及と振興を図り、スポーツを通じた体づくりや仲間づくりによる社会参加を啓発するとともに、健康で生きがいのある地域社会の実現に努め、福祉の向上と健全な社会の発展に寄与することを目的として活動。

【主な事業内容】

- ・はまなす車いすマラソン・北海道障がい者スポーツ大会等の各種スポーツ大会の開催、全国大会への選手派遣、スポーツ教室・スポーツ指導者育成講習会の開催。
- ・2015年から、当行と北海道との包括連携協定に基づく協働事業である「北洋銀行スポーツ応援事業」の事業実施主体として同事業を運営中。

【2020～2021年度の事業計画】

- ・大会開催・派遣事業
北海道障がい者スポーツ大会、北海道障がい者冬季スポーツ大会、はまなす車いすマラソン、北海道身体障がい者アーチェリー競技大会、北海道障がい者水泳大会、北海道障がい者卓球競技大会、北海道身体障がい者ゲートボール大会、北海道障がい者ボウリング大会、全国障害者スポーツ大会北海道選手団派遣
- ・教室開催、指導者養成事業
障がい者スポーツ教室、全道巡回障がい児者スポーツ教室、障がい者スポーツ競技指導者研修会、初級障がい者スポーツ指導員養成講習会
- ・団体助成事業
障がい児者スポーツ団体助成



⑫ 一般社団法人札幌市障がい者スポーツ協会【札幌市】

1. 団体について

設立	1995年3月7日
代表者名	会長 浅香博文
団体構成員数	11(会員団体数)
所在地	札幌市西区二十四軒2条6丁目1番1号札幌市身体障害者福祉センター内

2. 活動の概要

【団体の目的】

障がい者に対するスポーツの普及と振興を図り、障がい者がスポーツを通じて体力の維持向上と交流を深め社会参加を促進することにより、心身ともに健全で生きがいのある社会生活を営むことができるよう助長し、障がい者の福祉の増進に寄与する。

【主な事業内容】

- ・障がい者スポーツの普及、啓発
- ・障がい者の各種スポーツ団体の育成・指導・助成
- ・障がい者スポーツに関する指導者の育成
- ・障がい者のスポーツに関する研修会、講習会の開催
- ・障がい者の各種スポーツの大会の開催・派遣
- ・障がい者スポーツに関する調査、研究

【2020～2021年度の事業計画】

- ・「札幌障がい者スポーツだより」の発行、協会HPの掲載
- ・障がい者スポーツ教室の開催
- ・協会所属のスポーツクラブなどの各種スポーツ団体の育成・指導・助成
- ・障がい者スポーツ指導員研修会の開催
- ・初級障がい者スポーツ指導員養成講習会の開催
- ・札幌市障がい者スポーツ大会(すずらんピック)、札幌市身体障がい者ボウリング大会等の開催
- ・全国障害者スポーツ大会、同北海道・東北ブロック予選会、全国ろうあ者体育大会等派遣 など



⑬道東地区障がい者スポーツ指導者協議会【帯広市】

1. 団体について

設立 2014年12月14日
代表者名 会長 高瀬勝洋
団体構成員数 71人
所在地 北海道帯広市西23条北2丁目11番14 有限会社イフ内

2. 活動の概要

【団体の目的】

十勝・釧路・根室地区をエリアとし、スポーツ・レクリエーション活動をとおして、障がい者スポーツの普及・振興に寄与すること。

【主な事業内容】

- ・養成講習会開催（不定期）
- ・障がい者スポーツ障がい者スポーツ指導員養成に係る事業
初級障がい者スポーツ指導員指導員の技能及び知識向上に係る事業
指導員向け研修開催（不定期）
- ・障がい者スポーツの振興・普及に係る事業
各種競技大会運営のサポート（自主開催・協力要請等への対応）
総合学習等「障がい者スポーツ」の体験学習講師対応等
- ・情報提供事業
Facebookの（一般公開用）と（会員限定用）の運用

【2020～2021年度の事業計画】

- ・2020年度計画は、新型コロナ禍に伴い事業は中止
障がい者スポーツ指導員個々による活動は実施。
- ・2021年度活動計画
2020東京パラホストタウン事前合宿（釧路市）支援 7月予定
ボッチャ体験教室の開催協力（釧路市・帯広市） 開催時期未定
ボッチャ審判養成講習の開催協力（帯広市） 9月18日（土）開催予定
U15ボッチャ帯広カップ2021開催協力 9月19日（日）開催予定（全道規模）



⑭ 函館地区障害者スポーツ指導者協議会【函館市】

1. 団体について

設立 1995年5月9日
代表者名 会長 河原塚由紀
団体構成員数 56人
所在地 北海道函館市中島町25番18号 中島れんばいふれあいセンター内

2. 活動の概要

【団体の目的】

障害者スポーツ指導員の養成、ボランティアの育成に努めると共に、障害者スポーツの振興を目指し、障害者の社会参加の促進に寄与する

【主な事業内容】

- ・ 障害者スポーツの推進
- ・ 障害者スポーツの指導
- ・ 障害者スポーツ振興への支援
- ・ 障害者のスポーツ及びその指導に関する情報、資料の収集

【2020～2021年度の事業計画】

- ・ 2020年10月24日・25日 ノウフクマルシェ内のボッチャ体験会
- ・ 2020年11月23日 中島れんばいふれあいセンターイベントでのボッチャ体験会
- ・ 2020年11月29日 フロアバレーボール教室
- ・ 2021年1月 ボルダリング教室 ⇒ 新型コロナ拡大防止の為、中止
- ・ 2021年3月予定 車椅子バスケットボール教室
- ・ 2021年度も引き続き上記同様の体験会、教室を予定

この他、函館視力障害者福祉協議会卓球部・函館FVC(フロアバレーボールチーム)・HARDERS函館(車椅子バスケットボールクラブ)・ボルダリングの函ZARU、障害者割引を導入するボッチャやニュースポーツのクラブ設立の支援も行う。



⑮ 2021ワールドパラノルディックスキージャパンカップ札幌大会

【開催概要】

- ・開催期間 2021年2月23日～25日
- ・開場 白旗山競技場（札幌市清田区真栄）
- ・主催 特定非営利法人日本障害者スキー連盟
- ・主管 公益財団法人札幌スキー連盟
- ・共催 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会
- ・公認 IPC（国際パラリンピック委員会）
- ・参加 30名（IDを含む）
- ・競技種目 クロスカントリー ショートレース（クラシカル）、ミドルレース（フリー）、ショートレース（フリー）
※公開競技として知的障がい者によるレースを行う



以上

2019年度「パラスポーツ応援債」発行企業一覧 (企業名の公表に承諾いただいたお客さまのみ)

(発行日順)

発行企業名	代表者	住所
株式会社サーズ	代表取締役 森永 敬和	札幌市北区北9条西3丁目10番1号
日本地建株式会社	代表取締役 岡 實	札幌市中央区北5条西26丁目1番7号
株式会社緑地	代表取締役 竹下 猛	函館市田家町6番5号
櫻井工業株式会社	代表取締役 櫻井 光雄	札幌市白石区平和通11丁目北6番39号
株式会社大東	代表取締役 丹山 東吾	登別市鷺別町6丁目31番1
辻本塗工株式会社	代表取締役 那須野 憲悟	釧路市若竹町1番12号
札幌宅商株式会社	代表取締役 岡林 敏一	札幌市豊平区平岸2条13丁目22
株式会社ケーアイシステム	代表取締役 久保田 貴博	札幌市中央区北3条西3丁目1番地
株式会社山川	代表取締役 蛭名 ユリカ	室蘭市中島本町1丁目無番地
株式会社アーキコーポレーション	代表取締役 菊地 俊哉	札幌市中央区大通東10丁目16番地9
本所工業株式会社	代表取締役 本所 光男	室蘭市東町3丁目1番地21
株式会社西武建設運輸	代表取締役 岸 寛樹	函館市赤川町518番地3
有限会社ナカチク	代表取締役 中島 雅也	札幌市南区澄川5条12丁目5番18号
第一建設株式会社	代表取締役 佐藤 直	室蘭市中島町3丁目3番3号
ダットジャパン株式会社	代表取締役 犬丸 澄夫	札幌市中央区南3条西5丁目1番1
HTC株式会社	代表取締役 臼井 宏太郎	札幌市北区北7条西2丁目8番地1
株式会社豊和	代表取締役 豊澤 佑介	苫小牧市沼ノ端10番地2
株式会社イワクラ	代表取締役社長 岡本 泰雄	苫小牧市晴海町23番地1
株式会社堀清水組	代表取締役 高山 清	奥尻郡奥尻町奥尻309番地2
株式会社オオタ	代表取締役 太田 孝彦	函館市西栲梗町852番地5
西將建設有限会社	代表取締役 西川 徹雄	岩内郡共和町梨野舞納355番地15
株式会社ランドマーク・アメニティ	代表取締役 今野 達也	札幌市中央区南1条西23丁目1番6号
北開建設株式会社	代表取締役 高橋 政志	枝幸郡浜頓別町緑ヶ丘1丁目45番地
釧路技研株式会社	代表取締役 高瀬 力	釧路市新富士町6丁目3番10号
グリーン工業株式会社	代表取締役 加地 忠夫	札幌市西区西野6条6丁目12番11号
相互開発株式会社	代表取締役 本多 宏考	岩見沢市金子町448番地7
札幌塗装工業株式会社	代表取締役 中島 武士	札幌市中央区宮の森2条9丁目1番10号
北海道農販株式会社	代表取締役 大島 伸哉	札幌市清田区里塚緑ヶ丘1丁目16番8号
株式会社流研	代表取締役 高橋 敬二	札幌市中央区北1条東2丁目5番地
株式会社Fit	代表取締役 石田 達也	札幌市東区中沼町66番306
有限会社不動産企画ウィル	代表取締役 佐藤 真一	函館市柏木町14番20号
株式会社フィールド	代表取締役 齋藤 貴之	札幌市中央区南2条西1丁目7番地8
株式会社アウル	代表取締役 谷 隆志	札幌市中央区南1条西20丁目1番25号
株式会社上嶋自動車	代表取締役 上嶋 康秀	帯広市西24条北1丁目3番30号
株式会社OMフーズ	代表取締役 三國成能	札幌市中央区南4条東4丁目11番地
株式会社サンセツ工業	代表取締役 酒井 功	札幌市厚別区厚別東4条2丁目3番1号
岩下産業株式会社	代表取締役 岩下 武史	札幌市西区八軒7条西11丁目2番22号
株式会社フルハウス	代表取締役 小林 充博	旭川市南6条通26丁目513番地115
株式会社盛林商産	代表取締役 齊藤 龍太郎	帯広市西20条北2丁目27番地
株式会社クラムコーポレーション	代表取締役 藤野 大	札幌市厚別区厚別西2条4丁目1番7号
北栄測量設計株式会社	代表取締役 杉村 久哉	函館市深堀町11番22号
中央防災システム株式会社	代表取締役 泰地 浩幸	釧路市材木町15番13号
株式会社軽自動車館	代表取締役 阿部 章一	札幌市中央区北5条西6丁目2番2号
ハヤシ電興株式会社	代表取締役社長 林 隆志	札幌市中央区南8条西12丁目1番22号
株式会社KMM	代表取締役 畠山 尚史	河東郡上士幌町居辺東7線277番地
株式会社光久大建興業	代表取締役 細昌 光廣	札幌市西区二十四軒2条2丁目4番21号
富士自動車工業株式会社	代表取締役 井上 公彦	札幌市北区新川3条20丁目1番1号